

平成29年度 いじめの防止に向けた児童の主体的な活動 小学校

参考資料 2

あいさつ運動等

- 児童会で「いじめを見逃がさないようにしよう」という目標を立て、児童会役員等による登校時の「朝のあいさつ運動」のときに「いじめをしない、させない、許さない学校にしよう」と呼びかけた。
- 児童会が主体的に計画し、各学年全員が2日間ずつ登校時に校門に立って「あいさつラリー」を実施した。
- 毎日1回以上、相手に『ありがとう』とってもらえることをすることで、相手の気持ちを考えて行動する精神を養う親切運動を実施した。
- 朝のあいさつ運動と、業間の休み時間に廊下を走らないよう呼びかける校内パトロールに通年で取り組んでいる。その時に、「友だちと仲良く過ごそう。」「困ったことがあれば近くの人に相談しよう。」といった声かけを合わせて行う事とし、児童会役員と代表委員が輪番で取り組んだ。

全校遊び・レクレーション

- 児童会役員が中心となって、給食後の昼休みに毎日「全校遊び」を計画し行った。低学年や中学年の希望の遊びを取り入れるなど、全校児童が仲良く楽しめるように取り組んだ。
- 児童会役員の企画・運営のもと、1年生から6年生が仲良くできることを目的に、全校でのスポーツ大会を実施し、交流を行った。

フォーラム・フェスティバル

- 市で行われた6年生の人権フォーラムを受け、全校で人権フォーラムを行った。①友達の気持ちを考えているか②自分の思いを伝えているか③友達が良くないことをしている時にいけないことだと教えているか といったテーマを6年生児童が問題提起をし、全校児童がそのテーマに対して、自分たちの体験や考えを具体的に挙げながら意見を発表し合った。
- 人権フォーラムに参加した児童が当日の様子について報告を行ったあと、小グループにわかれていじめに関する話し合いを行い、みんなの意見を交流しあった。その際、人権フォーラムに参加した児童がファシリテーターやコーディネーターとなり、意見のとりまとめや助言などを行った。

文化祭

- 「地区民俗文化祭」で地域の太鼓グループと一緒に和太鼓の演奏をするための練習に取り組んだ。それを通して、聴く人を感動させる演奏をするには演奏の技術を向上させるだけでなく、準備や片付けを友だちと協力して行ったり、自分だけが練習をがんばるのではなくみんなで声を掛け合ったり助け合ったりすることが大切であることを学んだ。

縦割り活動

- 児童会代表委員会が中心となり、他学年との交流や親睦を深めるために縦割り班遊びを企画した。
- 縦割り班会議で「ふわふわ言葉・ちくちく言葉」を出し合い話し合った。それを児童会でまとめ、「ふわふわことばで、たのしい学校にしましょう!」のタイトルで「ふわふわ言葉」を校内に掲示した。

標語等

- 人権について学習したことを生かして、自分たちで「人権カルタ」を作った。その際、いじめ防止に関わる標語も考え、カルタの一部に取り入れた。完成したカルタは、踊り場に掲示し、全校に人権を守り、いじめを防止することの大切さについて呼びかけた。
- 委員が各学級を回り、「いじめ防止、根絶に関する標語」作成の取組を呼びかけ、全校で標語の作成に取り組んだ。

討議等

- 人権委員会の提案から、「相手を思い合う言葉」について学級で話し合いをし、それぞれ目標を持ち、自分のこととして捉えて取り組んだ。
- 児童会主催で全校児童が集まり、つらかったことやいやだったことなどを話し合う会議を行った。みんなで分かり合い解決できるよう話し合えた。

人権集会等

- 児童会が中心になって、「自分が困っていること、悩んでいること」をテーマにして、全校で話し合い、集会を開いた。集会を開くにあたっては、事前に各学級にアンケートを取り、友だちとの関係の中でどんなことに困っているのかについて把握して準備を進めた。当日は、児童会役員が司会進行を務め、子どもたちから出された内容（悩んでいること、つらかった出来事等）に対して、個々の思いや考え、解決方法などを出し合い、話し合った。
- 各学級ごとに「人権宣言（友情宣言、なかよし宣言）」を話し合って決め、全校児童総会で「全校人権集会」という形で、各学級が話し合って決めた宣言を発表し合った。その後、ペア学年の児童同士が仲良くなるための活動を、それぞれ別の教室に移動して行った。

周知・啓発等

- 児童会が主体となり休み時間に見回りを行い、あいさつをする・ルールを守って活動することについて啓発し、よりよい人間関係づくりに努めた。
- 児童会で話し合い、お昼の放送で、いじめ防止を訴えたり、児童玄関の黒板にメッセージを書いたりして、児童全員が考える機会とした。
- いじめ防止に関する児童会便りを作成し、代議員が各クラスで呼びかけた。また、一斉下校の際にも、児童会が全校にいじめ防止を訴えた。
- 放送委員が昼の放送で、困ったことがあったら一人で悩まず、友達や先生に相談しようと呼びかけた。

その他

- 児童会役員が話し合いを行い、楽しい学校にするために「目安箱（困ったことをつたえるポスト）」を設置した。
- 児童会の企画「ノーチャイムデー」を通して、クラスで協力したり、声を掛け合ったりすることで、仲間意識を高めた。
- 委員会活動（生活委員会）において、『いじめをなくそう』『友達にいやなことをしない、言わない』という生活目標を立て、毎日、帰りの会の時に各クラスで一日を振り返るという取り組みを全校で行った。
- 8月に県教委からあった「いじめに関する意見提案」について児童会で取り組み、いじめをなくすための方策について話し合い、集会で提案した。上記の取り組みの一環として児童会が「子ども相談室」を設け、いじめなどの相談を受ける場を作った。
- 児童会で、クラスの友達や他の学年の人にしてもらって嬉しかったことをメモに書いて届けられるよう「ハッピーボックス（ポスト）」を設置した。

